まちづくり交付金 事後評価シート 中心市街地地区

平成21年12月 山形県山形市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山形県		市町村名 山肝			山形市	沛		也区名	中心市街地地区			面積	250ha		
交付期間	平成17~21年度		事後評価等	事後評価実施時期 平		平成21年度	成21年度		交付対象事業費		7,065.7百万円		0.40			
			事業名													
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、	基幹事業		道路]美畑天童線、諏訪町七日町線、十日町双葉町線、山形停車場医学部線、美畑天童線、南追手前南館線交差点改良、[地域生活基盤施設]ポケットパーク、施設案内板、【土地区画整理事業】十日町土地区画整理 事業、七日町土地区画整理事業、【地域創造支援事業】市道御蔵町通線幅広路肩整備、十日町区画整理、霞城公園整備、霞城公園整備(史跡復元)												
	実施した事業	提案事業	[事業活用調査]交通量調査、[まちづくり活動推進事業]まちづくりデザイン活動補助、中心商店街共同活性化推進事業、インキュベートブラザ支援事業、							、中心市街地賑わい創出支持	爰事業、中心市街	地循環バス支援事業				
					事業	名			削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画基幹事業		[公園]ひばり公園整備、[地域生活基盤施設]仮称)山形駅南駐輪場、						近接する十日町双葉町線の事業が遅れており、関連する当事業の 事業完了が困難なことから削除した。				指標への影響は考えられるが、数値目標は据え置くものとする。			
	削除した 事業	提案事業	【地域創造支援事業】市道桶町新道線歩道整備、市道木の実1号 陳列所裏通線幅広路肩整備				木の実1号線歩道	整備、市道	事業時期の見直しにより削除した。				指標への影響は考えられる	が、数値目標は	据え置くものとする。	
		基幹事業	【道路】(仮)御殿堰七日町歩道線、【公園】仮称)十日町地区公園(1-5造物活用事業】第一小学校旧校舎保存活用事業					、【既存建	存建 まちづくりの目標である「ひとが活きるまち」の達成に寄与するため				指標への影響は考えられるが、数値目標は据え置くものとする。			
	新たに追加し た事業	提案事業	【地域創造支援事業】街なか側溝整備事業、山形市民会館改修事業、肢体 児童生徒教育環境整備事業、第一小学校旧校舎保存活用事業、【事業活 第一小学校旧校舎保存活用調査、事業効果分析、【まちづくり活動推進事 製造設備導入事業					活用調査】	まちづくりの目標	である 「ひとが汗	舌きるまち」の達成	指標への影響は考えられるが、数値目標は据え置くものとする。				
	交付期間 当 初		平成17~21年度			交付期間の変更による										
	の変更 変 更		-			指標、数値目標への							-			
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標			単位	従前値	<u>基</u> 準年度	目標	値 目標年度	数 モニタリング	値 評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要 (総合所見	_	フォローアップ 予定時期	
	指標1 駅東西自由通路		通路横断者数	人·目	8,496	H16	9,000	H21		9,298		あり - なし -	山形駅を中心として東西の第一性化され、駅東西自由通路した。		-	
	指標2	指標2 区域内でのイベント数			71	H16	100	H21		100		あり - なし -	広場公園の整備が行われ、 一提供されたことによりイベン した。	ト開催が活発化	平成22年5月	
	指標3	指標3 季節による歩行者数		-	1.0	H16	1.3	H21		1.1		あり なし	歩道の消雪設備の整備、ま一の賑わいを創出するイベン り、冬季の歩行環境の向上	ト等の開催によ	平成22年5月	
3)その他の数値指標		指 標	単位		従前値	基準年度			数 モニタリング	値 評価値	_ 目標 達成度 1	1年以内の 達成見込み	効果発現要 (総合所見		フォローアップ 予定時期	
(当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の 数値指標1 歩行者数			人·日 1,033		整年年度 H16	日标任及		L=9927	2,393	EILIQ	EILEUT	歩道の消雪設備が整備され 等が開催されたことにより、	、またイベント	平成22年5月	
*																
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況 都市再生整備計画に記載し、実施できた 2期計画				今後の対応方針等 +画(山形市中心市街地地区)においても、交付最終年度以前にモニ					
	モニタリング		モニタリング				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				タリン・	・ 期間 (山が巾叶心中は地地と)にあいても、文刊版終年後以前にモーリップがを実施し、指標の達成状況や効果発現要因の整理等を行い、事業の達成状況を確認することとする。				
	住民参加		都市計画道路・諏訪町七日町線沿線街づくり実行委員会				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった // 一					き続き今後のまちづくりについて協議し、中心市街地活性化に必要な -ド事業・ソフト事業を検討していきたい。				
	プロセ	: ス	第一小学校旧校舎保存活用懇話会					都市再生整備計画に記載しながったが、実施した				続き中心市街地の活性化と連動した第一小学校旧校舎の利活用策に いて検討していきたい。				
	持続的なまちづくり 体制の構築		「まちづくり委員会」等の各種研修、ワークショップ等をサポートする(提)まちづくりデザイン活動補助									市計画道路・諏訪町七日町線沿線街づくり実行委員会」を中心として、 記的なまちづくりを踏まえた街並みの形成・検討を行い、市は後方支援 いく。				
			中心商店街共同化推進事業、起業家育成NPO法人支援事業、中心市街地賑い創出支援事業									続可能な商店街・地域づくり研究会」を中心に、実態調査等を行いその を踏まえ商店街の賑わい創出に繋げて行きたい。				

様式2-2 地区の概要

中心市街地地区(山形県山形市) まちづくり交付金の成果概要											
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値		目標値		評価値					
ひとが活きるまち	駅東西自由通路横断者数	人·日	8,496	H16	9,000	H21	9,298	H21			
ひこか治さるよう 1山形の歴史・文化資産を生かした都市構造再編	区域内でのイベント数		71	H16	100	H21	100	H21			
	季節による歩行者数	_	1.0	H16	1.3	H21	1.1	H21			
3市街地居住者・高齢者や障害者に配慮したやさしいまちづくり	步行者数	人·日	1,033	H16			2,393	H21			



美畑天童線



十日町地区公園



七日町土地区画整理事業



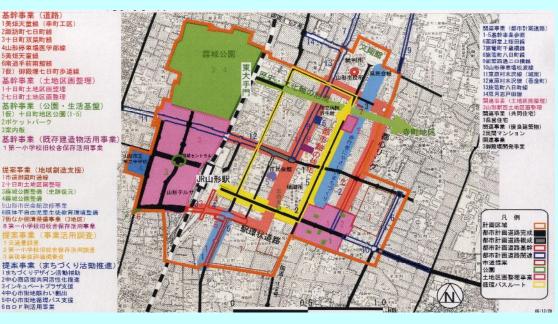
十日町土地区画整理事業



街なか側溝整備事業



BDF製造設備導入事業





インキュベートプラザ支援事業



中心市街地循環バス支援事業



第一小学校旧校舎保存活用事業

■達成されたこと

・山形市の歴史文化軸の整備推進や商業業務集積地との調和と連携及び歴史・文化資産の保存、利活用による街づくりが課題となっていたが、霞城公園内の整備により、山形城跡の復元された石垣・大手橋等に対するアクセス性や景観性 が向上した。また、観桜会等の各種イベント時の利用スペース増加や日常公園利用者の利便性・快適性が向上した。さらに、第一小学校旧校舎保存活用事業により、旧校舎の耐震工事等の建物の安全性向上が図られるとともに活用方策に ついても検討が行われ、中心市街地の新名所としての活用が期待される状況となっている。

・中心市街地地区に直結する幹線道路の整備改善及び地区外からのアクセス強化が求められていたが、幹線道路の道路整備改善・暫定交差点改良及び一部の供用開始を行ったことにより、交通環境の利便性が向上し、車両がスムーズに 通行できるようになってきている。

・計画以前は、歩行空間の整備や消雪歩道化の推進及び公共施設のバリアフリー化による生活者の安全と回遊性の確保が課題であった。それに対応した歩行空間の整備や消雪歩道化により、冬季でも歩行者に優しい安全性の高い歩行空

まちの課題の変化

間が確保された。また、駅から学校までバリアフリー化がなされ安全性が確保されことにより、肢体不自由生徒が健常者と同じ学校生活を送ることができるようになった。さらに、公共施設のバリアフリー化により、利用者の利便性が向上した。 ・人々が休憩し集う場所の創出や災害時に避難場所ともなる公園・緑地・広場等の整備及び旧来の密集市街地の環境改善整備が当地区の課題の一つであったが、防災公園の機能を持った十日町地区公園が整備され、通常時の憩いの場 としてだけでなく、災害時の避難場所としての機能が確保された。

■残された未解決の課題、新たな課題

・第一小学校旧校舎が中心市街地の新名所として中心市街地の活性化に寄与するために、周辺施設や街中との回遊性を確保するとともに、さらなる活用や維持管理方法について検討を行うことが必要である。

- ・幹線道路の道路整備改善・暫定交差点改良を行ったことにより、交通環境の利便性が向上し、車両がスムーズに通行できるようになったが、利便性の向上に伴い交通量が増加してきている。
- ・関連事業の遅れにより一部供用開始ができない事業については、2期都市再生整備計画において整備を進める必要がある。

基幹事業 (道路) 1美畑天童線(幸町工区)

2部計開十日開始

3十日町双葉町錦

6南语手前南館籍 7仮) 御殿堰七日町歩道線

5美畑天童線

3室内板

4山形停車場医学部線

2七日町土地区画整理

1仮)十日町地区公園(1-5) 2ポケットバーク

提案事業 (地域創造支援) 1市道御蔵町通線 2十日町土地区回整理 護城公園整備 (史跡復元) 4裔城公陵整備 5山形市民会館改修事業

6肢体不自由児童生徒教育環境整備 7街なか側溝落備事業 (3地区) 8第一小学校旧校舎保存活用事業

是案事業(事業活用調査)

1まちづくりデザイン活動補助 2中心商店街共同活性化推進

3インキュベートプラザ支援 4中心市街地駅わい創出

5中心市街地循環バス支援 6BDF利活用事業

基幹事業 (土地区画整理) 1十日町土地区画整理

- ・さらに、街中で人々が集い、憩い、賑わう場として、また災害時には避難場所として機能する公園・緑地・広場等をさらに整備する必要がある。
- ・商店街によって資金・人手及び活性化に対する意識に差があり、イベント等を実施する商店街が少なくなった。また、それぞれのイベントの関連性が薄く、中心市街地の魅力の向上や商業の振興に結び付いていない。

今後のまちづくり の方策 (改善策を含む)

■効果を持続させるために行う方策

①各観光スポットのさらなる魅力の向上、②地区内道路および歩行空間の計画的な整備、③防災機能を備えた公園の維持管理

①街中の回遊性の向上、②第一小学校旧校舎活用方法の検討、③道路および歩行空間の整備、④公園・緑地・広場のさらなる整備、⑤中心市街地が一体となったイベントの開催や活性化方策の検討